

「次期プロジェクトマネジメントシステムに係る設計・開発及び運用・保守業務」仕様書（案）に関する意見書への回答

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-----|---------|----------|---|--|-------------|--|
| 1 | 仕様書 | 20 | 3.1. (3) | 以下の通り文言の修正をご提案いたします。 修正前：本番サーバは、サービスレベルとして99.9%以上の可用性を確保すること。 ※オンライン処理に必要な各サービスを直列に並べて稼働率を計算した値とする。 ↓ 修正後：本番サーバは、以下の要件を満たすサービスレベルを確保すること。 ・IaaS 型サービスについては、サービスレベルとして 99.9%以上の可用性を確保すること ・SaaS 型サービスについては、サービスレベルとして 99.8%以上の可用性を確保すること ・IaaS/SaaS の別を問わず、前年の実績稼働率として 99.9%以上であることを客観的に確認できること ※稼働率の算定にあたっては、オンライン処理に必要な各サービスを直列に並べて算出した値、またはこれと同等の考え方に基づく実運用上の稼働実績を用いるものとする。 | システムの可用性について、現行システムで達成している水準を踏まえ、運用上の目標値として月間稼働率99.9%を設定し、稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いることとします。目標値に達成しない場合は改善案の提示・実施を求める旨、仕様書へ記載いたします。 | 有 | 「システムの稼働率として99.9%以上を目標とする。 ※稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いるものとし、目標に達成しない場合は改善案の検討・提示・実施をおこない、3ヶ月以内の達成を目指すこと」に修正する。 |
| 2 | 仕様書 | 20 | 3.1. (4) | 以下の通り文言の修正をご提案いたします。 修正前：RPO(目標復旧時点)：前日利用終了時（または当日オンライン開始時点） ↓ 修正後：RPO(目標復旧時点)：1時間 | RPOの定義について、他システムとの連携や全体業務の断面も考慮する必要があるため、本要件から変更する予定はございません。 | 無 | |
| 3 | 仕様書 | 21 | 3.2. (2) | 以下の通り文言の追加をご提案いたします。 追加文言：SaaSサービスについてはこの限りではなく、設計内容に応じて個別に協議の上決定することとする。 | SaaSサービスにおいてはネットワーク遅延やブラウザの処理など、ベンダー側でできない要因が性能に影響するため、画面処理時間を秒単位で保証するのが難しいというご指摘は理解しております。 性能要件についてはオンプレやIaaS型の基準で一律に定義するのではなく、SaaS特有の事情を踏まえた要件へ見直しします。 | 有 | 「ネットワークや利用環境による影響を考慮し、システムがリクエストを受け付けてからレスポンスを返すまでの平均応答時間を3秒以内とし、著しい遅延が発生した場合は受注者と協議の上、改善を求める。」に修正する。 |
| 4 | 仕様書 | 23 | 3.4 (3) | 移行対象データについて以下の情報をご教示ください。 データ量：レコード件数や総容量など 添付ファイルの有無と形式（PDF、画像、Officeファイル等） | 本公示に関する閲覧資料にて、現行の情報を提示いたします | 無 | |
| 5 | 仕様書 | 24 | 3.5 (5) | 以下の通り文言の追加をご提案いたします。 追加文言： ・事業者等向け外部サイトでは多要素認証を実装すること 多要素認証の検証方法は以下に全て対応すること。 ・認証アプリ ・FIDO2 ・パスワード ・メールワンタイムパスワード ・SMSワンタイムパスワード | 機能要件にて多要素認証に関する要件を示しています。 | 無 | |
| 6 | 仕様書 | 21 | 3.2. (1) | 内部ユーザ：約1,500名のうち、以下の機能定義に基づき、各機能を担当する人数の内訳をご教示ください。 ※同一人物が複数機能を担当する場合は、重複を考慮した内訳でお願いします。 機能定義 A：問合せ管理（機能概要ID: JPN11B.SR.01-02） B：マニュアルの管理（機能処理ID: JPN11A.SR.01.01-04） C：FAQの管理（機能処理ID: JPN11C.SR.01.01-07） ご教示いただきたい人数内訳 ・Aのみ担当する人数 ・Bのみ担当する人数 ・Cのみ担当する人数 ・A+Bを担当する人数 ・A+Cを担当する人数 ・B+Cを担当する人数 ・A+B+Cを担当する人数 | 各機能の担当者については、後続フェーズで具体的な業務内容や役割分担を詳細に定義する予定であるため、現時点での内訳のご提示は困難です。 ご参考までに、内部ユーザのうち管理業務を行うユーザの想定人数は3名から9名程度となります。 なお、上記人数には、応札者が構築する体制（例：ヘルプデスク等）の人員は含んでおらず、弊機構で運用・管理を担う担当者のみとなります。 | 無 | |
| 7 | 仕様書 | P2 | 1.3.2 | 以下文言の追加を推奨します。 作業画面と同一画面から手順書を閲覧できる機能を備える。 | ユーザビリティについては、直感的なユーザインタフェースの提供により、具体的な手順書を閲覧せずともユーザが容易に目的を達成できることを期待します。そのため、作業画面から手順書閲覧できる機能を必須要件として記載することは想定しておりません。 | 無 | |
| 8 | 仕様書 | P9 | 1.6 | 以下内容に対する質問となります。 業務開始が2026年度Q1の早い時期を想定されていますが、公示や手続きが遅れた場合でもリリースは2027年12月末という認識でよろしいでしょうか。 | 現時点でシステムのリリースタイミングの変更は想定しておりません。 | 無 | |
| 9 | 仕様書 | P10 | 2.1 (1) | 以下文言の追記を推奨します。 【業務の効率化】 NEDO職員業務の効率化を支援するための、生成AIなどを用いた文章の要約や関連情報の検索、対策案の提示などの機能を備えること。 | 本件は、調達時における必須要件とはせず、加点ポイントとなる評価観点にすることを検討します。 | 無 | |
| 10 | 仕様書 | P10 | 2.1 (1) | 以下文言の追記を推奨します。 入力作業を省力化するため、入力時にテンプレートから選択できる機能を備えること。 | ご提案いただいた「入力時にテンプレートから選択できる機能」は、目的（入力業務の省力化）を達成するための実現方式の一つと認識しております。仕様書には特定の方式を明記せず、入力作業の省力化という目的を達成するための最適な方式については、応札者の提案に期待しております。 | 無 | |
| 11 | 仕様書 | P10 | 2.1 (1) | 以下内容の明確化を推奨します。 次期システムにおけるマルチデバイス利用について、外部インターネット回線を経由したアクセスを想定しているか。 | 現時点では想定しておりません。 | 無 | |
| 12 | 仕様書 | P10 | 2.1 (1) | 以下内容の明確化を推奨します。 次期システムにおけるマルチデバイス利用について、Webブラウザからのアクセスを想定しているか。 | Webブラウザからのアクセスは有効な手段の一つと認識しておりますが、特定の方式に固執するものではありません。 具体的な技術的アプローチ、デバイスごとのUI/UXの最適化、およびセキュリティを確保する方策を含め、応札者の専門的な知見に基づく提案を期待しております。 | 無 | |

| 意見番号 | 文書名 | 頁番号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書修正有無 | 修正内容 |
|------|-----|------------|--------------------|---|---|---------|--|
| 13 | 仕様書 | P11 | 2.1 (5) | 以下文言の追記を推奨します。 管理者が市民開発ができるよう、ローコード・ノーコードでの開発機能を備えること。 管理者が項目の表示・非表示を設定できること。 | ご提案いただいた開発機能について、「1.3 調達目的及び期待する効果」「2.2個別機能要件」内に記載しているため、ご提案いただいた箇所への追記は予定しておりません。 | 無 | |
| 14 | 仕様書 | P20 P21 | 3.1 (1) 3.2 (3) | 以下内容に対する質問となります。 バッチ処理は0:00～2:00の時間帯に実施し、失敗した場合は切り戻しの上での再実行はせず、翌営業日の業務開始時刻までにロールバック処理のみを実施する認識でよいか。 | 日次処理が完了しない翌営業日の業務を開始できない場合があるため、万が一バッチ処理が失敗した場合には、業務開始時刻までにリトライを実施し、処理完了を目指す必要があります。 | 無 | |
| 15 | 仕様書 | P20 | 3.1 (2) | 以下内容に対する質問となります。 システム構築にあたり、原則二重化する要件である認識でよいのか。また、二重化できない場合のみ5分以内で切替する必要がある認識であっているか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 16 | 仕様書 | P20 | 3.1 (3) | 以下文言の変更を推奨します。 本番サーバに求める可用性は99.9%ではなく99.8%以上が望ましい。 | システムの可用性について、現行システムで達成している水準を踏まえ、運用上の目標値として月間稼働率99.9%を設定し、稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いることとします。目標値に達成しない場合は改善案の提示・実施を求める旨、仕様書へ記載いたします。 | 有 | 「システムの稼働率として99.9%以上を目標とする。 ※稼働率の算定は毎月の稼働実績を用いるものとし、目標に達成しない場合は改善案の検討・提示・実施をおこない、3ヶ月以内の達成を目指すこと」に修正する。 |
| 17 | 仕様書 | P21 | 3.2 (2) | 以下文言の追加を推奨します。 利用者（アカウント数）の増加に伴い性能が落ちることがないものとする。 | 該当内容については要件定義書（案）に記載しておりますため、仕様書への追記は想定しておりません。 | 無 | |
| 18 | 仕様書 | P22 | 3.3 (2) | 以下内容に対する質問となります。 「軽微な改修」とはロジックに変更を及ぼさない及びデータベース定義に影響を及ぼさない範囲を対象とする認識でよいか。 | 基本的にはその範囲が想定されます。 具体的な対応範囲については、都度ご相談することを想定しております。 | 無 | |
| 19 | 仕様書 | P24 | 3.5 (1) | 以下内容の明確化を推奨します。 「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準“等”」に含まれる具体的な文書範囲。 | 記載を変更いたします。 | 有 | 「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準」（最新版）に従うこと。」に修正する。 |
| 20 | 仕様書 | P25 | 3.5 (6) | 以下文言の追加を推奨します。 インスタンス・データベースは他顧客と共有せず、専用環境を用意すること。 | ご提案を踏まえ、「クラウド環境において、他テナントの影響を受けないための仕組みが確保されていること」を要件として明記するようにいたします。 | 有 | 「(6) データの秘匿 ・保存データ・通信データの暗号化を実施すること。 ・データごとに「機密情報」「公開情報」などの分類がおこなえること。 ・クラウド環境において、他テナントの影響を受けないための仕組みが確保されていること」に修正する。 |
| 21 | 仕様書 | P37 | 4.6 (3) | 以下内容の明確化を推奨します。 データ移行ツールの方式検討や工数算定の前提として、対象データ量（テーブル数、項目数等）の規模感やデータ形式（非構造化データ自体を構造化する必要があるか）の想定。 | 対象となるテーブル数や項目数などの規模感につきましては、参考として現行情報を本公示の際に明示し、事業者間で前提条件を揃えたうえでご提案いただけるよう配慮いたします。 | 無 | |
| 22 | 仕様書 | P44 | 4.14 | 以下文言の追加を推奨します。 製品およびクラウドサービスに対するアップグレードやバッチ適用などのメンテナンススケジュールを、ユーザー側に業務影響が出ないよう指定できること。 | ご提案いただいた「メンテナンススケジュールの指定」に関するご意見については、非機能要件にてサービス提供時間や夜間のバッチ処理、システム停止を伴うメンテナンス等については、要件定義書（案）にて記載しております。そのため、仕様書への追記は予定しておりません。 | 無 | |
| 23 | 仕様書 | 11 | 2.1.(5) | 「機能拡張性」について、設定・拡張するマス画面数および項目数、設定値数の想定値をご教示ください。 | 現段階では、設定・拡張する対象マスは未確定であり、具体的な想定値を提示することはできかねます。 | 無 | |
| 24 | 仕様書 | 12 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番1)に関して、NEDO職員がPMSへログイン（認証）する際の認証の全種類・方式についてご教示ください。 | NEDO職員は、別システムが保持する認証サーバを用いてシングルサインオンによりPMSにログインします。認証の種類・方式については本公示の際に提示する現行資料を参照ください。 | 無 | |
| 25 | 仕様書 | 12,14 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番7,25)において、「プロジェクトに紐づく文書の登録」とありますが、1つのプロジェクトにアップロードするファイル数とファイルサイズの上限はどれくらいを想定しているかご教示ください。 | 1つのプロジェクトにアップロードするファイル数・ファイルサイズの上限については、プロジェクト期間やプロジェクトに紐づく事業・契約数により異なるため現段階で具体的な想定値を提示することはできかねます。 | 無 | |
| 26 | 仕様書 | 12～19 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」において、現行のPMSのシステム全体での画面数と項目数、テーブル数と各テーブルのカラム数をご教示ください。 | 現行の画面やテーブル、項目数などの規模感につきましては、本公示の際に開示します。 | 無 | |
| 27 | 仕様書 | 13～17 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」において、外部システム（追跡調査システム、会計システム、文書管理システム、資産管理システム、周辺システム）との連携とありますが、PMSは対向システムの保有するREST APIを呼び出す想定でよろしいでしょうか。異なる場合はどのような連携を想定されているかご教示ください。 | 本公示の際に、IF要件を含む要件定義書（案）を開示します。 | 無 | |
| 28 | 仕様書 | 16 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番55)「帳票様式を登録・編集する」とありますが、PMS上で帳票様式の新規作成は想定していますでしょうか。 また、帳票様式の数や出力する件数の想定数をご教示ください。 | 項番55の帳票様式設定機能において、帳票様式の新規作成は想定しておりません。 帳票様式の数や出力件数の想定数につきましては、本公示の際に開示します。 | 無 | |
| 29 | 仕様書 | 17 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番58)に「NEDO職員・事業者へシステム内通知・メール・インフォメーション通知を送付する」とありますが、メール通知するにあたってNEDO様が既にお持ちのメールサーバを利用させていただける想定でよろしいでしょうか。 | NEDOが既存で保有するメールサーバの提供は予定しておりません。 メール通知機能の実現にあたっては、本調達範囲内で必要なメール送信機能を開発・実装いただくことを前提として検討ください。 | 無 | |
| 30 | 仕様書 | 18 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番64)に関して、事業者がPMSへログイン（認証）する際の認証の全種類・方式についてご教示ください。 | 事業者がPMSへログインする際の認証方式については、現時点で「アプリ等のツールを使用しない形での多要素認証によるログイン」を想定しております。 なお、具体的な認証方式については、受注者による提案内容に委ねるものとします。 | 無 | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-----|---------|--------------|---|--|-------------|------|
| 31 | 仕様書 | 19 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番74)に従事日誌を基に、労務費積算表を自動作成する」に関して教えてください。 ①従事日誌の単位（プロジェクト毎、担当者毎、事業者毎など）、自動生成を実施する頻度とタイミングを教えてください。 また、労務費積算表は生成された結果がPMSの画面上で確認できればよろしいでしょうか。 ②経費発生調書は生成された結果がPMSの画面上で確認できればよろしいでしょうか。また、自動生成を実施する頻度とタイミングを教えてください。 | ①各契約に従事する事業者担当者ごとに月単位の従事日誌を作成します。 労務費積算表は、中間検査または確定検査時に、検査対象期間分の従事日誌を基に生成します。生成結果はPMSの画面上でWeb帳票で確認できるようにし、かつファイル帳票としてダウンロードできるようにする必要があります。 ②経費発生調書も労務費積算表と同様に、中間検査または確定検査時に生成します。 生成結果はPMSの画面上でWeb帳票で確認できるようにし、かつファイル帳票としてダウンロードできるようにする必要があります。 | 無 | |
| 32 | 仕様書 | 19 | 2.2.(1) | 表3「機能一覧」(項番84)に関して、利用者（外部一般ユーザ）がPMSへログイン（認証）する際の認証の全種類・方式について教えてください。 | 項番84の外部一般ユーザによる成果報告管理機能へのログインはユーザIDとパスワードによる認証を想定しております。 | 無 | |
| 33 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | 「運用スケジュール」の「外部システムとの連携を含むバッチ処理やバックアップ時間については、計画停止の有無によらず、サービス提供時間後0:00～2:00の計画停止時間前までの間で実施する」に関して、外部システム連携の想定データ量を教えてください。 また、時間内に完了しない場合の対応も教えてください。 | 現時点で夜間バッチ処理の種類や連携データは未確定であるため、ご参考までに現行の情報を本公示の際に開示いたします。 日次処理が完了しないと翌営業日の業務を開始できない場合があるため、万が一バッチ処理が失敗した場合には、業務開始時刻までにリトライを実施し、処理完了を目指す必要があります。 | 無 | |
| 34 | 仕様書 | 22 | 3.3.(4) | (4)サポート体制の問い合わせ・障害対応11（一次受付・切り分け）に関して、月間に発生すると想定されている件数はどの程度でしょうか。差し支えなければ直近1年の月別問合せ件数をご教えてください。 | ご参考として、直近1年間の問い合わせ数は約3600件となります。各月およそ300件となります。 | 無 | |
| 35 | 仕様書 | 23 | 3.4.(3) | 「データ移行」に「現行システムの必要なデータ(業務データ、ユーザ情報、ログ等)を正確かつ安全に新環境へ移行すること」とありますが、具体的に移行する予定のデータの種類とデータ量（カラム数、レコード数、ファイル数、各種種別ごとのバイト数）を教えてください。 | 対象となるテーブル数や項目数などの規模感につきましては、参考として現行情報を本公示の際に明示し、事業者間で前提条件を揃えたうえでご提案いただけるよう配慮いたします。 | 無 | |
| 36 | 仕様書 | 44 | 4.14(8) | (8)強制バージョンアップや計画的なアップデートが実施される場合、関連するシステムとの連携部分について、影響評価と連携テスト(稼働確認)を必須とすること。テストの計画と結果は、発注者側の関連システム部門と共有し、承認を得ること」と記載がありますが、本調達の事業者はあくまでPMSシステム部分のみが対象の認識で良いでしょうか。 | 本調達の事業者による影響評価と連携テストの実施対象範囲についてはPMS部分のみが対象の認識で問題ございません。 | 無 | |
| 37 | 仕様書 | 9 | 1.6 作業スケジュール | 設計開発は2026/5～2027/12の20ヶ月、運用保守は2028/1～2029/3の15ヶ月となっておりますが、今回はマイグレーションではなく、新規開発ということを読めますが、上流工程で時間がかかることが想定され、今の期間ですと、十分な品質を確保した上で進めることが難しいと考えています。 繁忙期を避けるためにこのようなスケジュールとなっているものと認識しておりますが、設計開発期間を長く設けたく考えております。 (例えば、繁忙期は避けつつ、設計開発は2026/5～2028/6の25ヶ月、運用保守は2028/7～2029/3の10ヶ月とする等。) 現行システムの稼働期間との兼ね合いもあるかと存じますが、こういった提案をさせていただく事は可能でしょうか。 | 現時点でシステムのリリースタイミングの変更は想定しておりません。 | 無 | |
| 38 | 仕様書 | 16 | 表3機能一覧 | 現行システムのワークフローにつきまして、パッケージ製品等を導入されておりますでしょうか。導入されている場合は、製品名をご教示いただけますようお願い申し上げます。 | 導入しておりません。 | 無 | |
| 39 | 仕様書 | 16 | 表3機能一覧 | ワークフローのご利用人数について、以下の認識で相違ないかと教えてください。 ・通常アカウント：1,500名 ・ゲストアカウント：20,000名 併せて、想定される同時アクセス数もご教示いただけますでしょうか。 | ワークフローの利用人数について、認識の内容で問題ございません。 ー（想定する同時アクセス数についてはNEDO確認のため回答保留） | 無 | |
| 40 | 仕様書 | 22 | 3.3.(2)保守運用 | 「運用・保守の範囲内で発生する軽微な改修については、通常の運用・保守作業の範囲内で年間20件まで対応する」との記載につきまして、件数ではなく人月（〇人月まで）での表記へご変更いただくことは可能でしょうか。 難しい場合、過去の実績として、何人月程度の改修が発生したのか、表記いただけないでしょうか。 | ご提案の「人月」での表記につきまして、軽微な改修の性質上、作業の内容や規模が案件ごとに異なることから、「人月」ではなく「件数」で表現の方が実態に即しており、より適切であるとの結論に至っています。 過去実績の「人月」換算については、参考として提供可能かどうか、検討いたします。 | 無 | |
| 41 | 仕様書 | 30 | 4.2要件定義 | 前工程で作成された要件定義書（案）を閲覧させていただくことは可能でしょうか。 | 本公示の際に、要件定義書（案）を開示します。 | 無 | |
| 42 | - | - | - | 具体的な移行データ量の要件がないように見受けられましたが、本公示の際には要件として記載いただけるという認識でよろしいでしょうか。 | 本公示の際に、参考として現行情報を開示します。 | 無 | |
| 43 | - | - | - | 現行システムの詳細な構成（OS、ミドルウェア、ソフトウェア、インスタンスの個数等）は本公示の際には閲覧資料等で確認が可能ですでしょうか。 今回の基盤構築にあたり、弊社が想定してる構成で性能等が問題ないのか、参考までに比較させていただきたく考えております。 | 本公示の際に、参考として現行情報を開示します。 | 無 | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|----------|---------|---------|--|--|-------------|--|
| 44 | - | - | - | <p>現行システムの基本設計書等は閲覧資料で確認可能でしょうか。</p> <p>また、現行システムの機能数、画面数、帳票数、規模数（ソース行数）、テーブル数等の規模についての情報は、仕様書に明記または閲覧資料で確認する事は可能でしょうか。</p> | <p>本公示の際に、参考として現行情報を開示します。</p> | 無 | |
| 45 | 全般 | — | — | <p>機能数は全体で90弱存在すると認識しました。他方で、現行あるいは今回に所要の帳票数と画面数についても、開発工数や工期の現実性ある提案、開発アプローチのご提案などに不可欠な要素になるため、関連情報の呈示をご検討いただけますと幸いです。</p> | <p>本公示の際に帳票・画面要件を含む要件定義書（案）と参考として現行情報を開示します。</p> | 無 | |
| 46 | 全般 | — | — | <p>現行PMSに関する貴機構内外ユーザーからの所感・意見についての情報を提案に向けて何らかのかたちで加えていただくのが望ましいと考えます。</p> | <p>本公示の際には、参考としてシステム化構想書を開示予定であり、本書内で現行システムに対するユーザからの意見を記載しています。</p> | 無 | |
| 47 | システム化計画書 | 85 | 6.2 | <p>現行PMSからのデータ移行について、現行PMSのデータ量（レコード数、ストレージ容量）および移行範囲と、現行システムからの移行データ抽出等の必要諸作業などにかかる貴機構・現行事業者と今回受託者の分担、実施時期についての制約有無などについてもお示しください。</p> | <p>仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。</p> | 無 | |
| 48 | 全般 | — | — | <p>現行PMSと外部システム（会計システム、追跡調査支援システム等）との連携インターフェース仕様は開示いただけますでしょうか？また、次期PMSにおいてもこれらの接続先システムは継続利用される想定でしょうか？</p> | <p>本公示の際に、IF要件を含む要件定義書（案）を開示します。 次期PMSにおいて、既存接続先であるシステムは継続利用想定です。</p> | 無 | |
| 49 | 仕様書 | 26 | 4.1 | <p>設計・開発実施計画書（案）及び設計・開発実施要領（案）の提出が契約締結後5営業日以内とありますが、契約締結後2週間以内に変更いただくことは可能でしょうか？</p> | <p>設計・開発実施計画書（案）及び設計・開発実施要領（案）の提出期限の変更予定はございません。 5営業日以内に受注者から（案）を提出いただき、その後発注者と受注者間の確認と調整をもって確定する想定です。</p> | 無 | |
| 50 | 仕様書 | 35 | 4.4 | <p>「テストの実施に当たり必要な費用は全て受注者負担とすること」とあり、本作業項目に対してのみ費用負担に関する記載があります。特記すべき事項として、連携システムとの調整に係る費用やペネトレーションテストの外部委託費などが想定されると存じますが、そちらも含めてすべてという認識でよろしいでしょうか。</p> | <p>ご認識の内容で問題ございません。</p> | 無 | |
| 51 | 仕様書 | 41 | 4.13 | <p>本業務は開発工期が短いため、一定のタイミングで工程を区切り検収を定め、工程ごとに工程管理基準に適合可否を確認していただきたいと考えます。検収が完了後、請求させていただくことは可能でしょうか。</p> <p>また、運用保守期間においては、運用・保守報告書の納品を経て月次で請求させていただくことは可能でしょうか。</p> | <p>ご質問の件につきましては、契約締結後に応札者と調整のうえ、検収および請求のタイミングを決定させていただきます。</p> | 無 | |
| 52 | 仕様書 | 49 | 7.2 | <p>「契約不適合責任については、契約条項に記載のとおりとする」とありますが、契約条項の開示をお願いできますでしょうか。</p> | <p>本公示の際に開示いたします。</p> | 無 | |
| 53 | — | — | — | <p>本調達において、応札者の提案に第三者製品の再販が含まれる場合、再委託先からの再販の可否について、落札後に協議させていただく余地がありますでしょうか。</p> | <p>再委託先からの再販は不可となります。</p> | 無 | |
| 54 | 仕様書 | 2 | 1.3.4 | <p>1.3.4の「データ構造化の拡大」について、現行システムにおける下記の実績値を記載いただけないでしょうか。</p> <p>1. データベース（構造化データ）の総容量 2. ファイル（非構造化データ）の総容量 3. 年間のデータ・ファイル増加量</p> | <p>本公示の際には、参考として現行情報を開示します</p> | 無 | |
| 55 | 仕様書 | 2 | 1.3.4 | <p>1.3.4の「データ構造化の拡大」に関し、下記3点を記載いただけないでしょうか。</p> <p>1. データの保持期間 過去何年分を常時参照可能とするか</p> <p>2. 連携後のデータ処理 文書管理システム転送後のファイルをPMSから削除可能か</p> <p>3. 1件あたりの最大添付サイズ 1ファイルあたりの上限サイズや、1回の申請における平均的な添付ファイル数</p> | <p>本公示の際には、データ要件を含む要件定義書（案）を開示します</p> | 無 | |
| 56 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3) | <p>図3の現行構成ではNEDO職員様は専用線接続ですが、次期システムでも物理的な専用線や閉域網が必須要件となるか記載いただけないでしょうか。</p> <p>端末認証やMFA、IP制限、クライアント証明書等の対策を講じた上で、インターネット経由でアクセスする形態が許容されるかも併せて記載いただけると幸いです。</p> | <p>ご意見いただきました内容について、仕様書への反映は予定しておりません。</p> | 無 | |
| 57 | 仕様書 | 21 | 3.2.(1) | <p>3.2.(1)の外部ユーザからのアクセスセッション数について、現行システムにおける下記数量を具体的に記載いただけないでしょうか。</p> <p>1. 「年に数回（申請時のみ）利用するユーザー」と「日常的に利用するユーザー」の比率 2. 「日次のユニークログインユーザー数」（1日に1回以上ログインした個別のユーザーの合計人数）</p> | <p>ご要望いただきました外部ユーザに関する情報につきましては、開示可能な範囲で資料等に記載します。</p> | 有 | <p>「ユーザ数 内部ユーザ：約1,500名 外部ユーザ：約20,000名（現行参考情報：内半数が1年以内にログイン）」に修正する。</p> |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-----|---------|-----------|--|--|-------------|---|
| 58 | 仕様書 | 32 | 4.3.(3) | 4.3.(3)の環境定義に項目で以下記載がございます。 「詳細設計書等をもとに、クラウドサービスが提供する資源（OS、ミドルウェア）や…」 この記載について、以下のように「等」を加えていただけないでしょうか。 「詳細設計書等をもとに、クラウドサービスが提供する資源（OS、ミドルウェア等）や…」 | 記載を変更いたします。 | 有 | 「詳細設計書等をもとに、クラウドサービスプロバイダが提供する資源（OS、ミドルウェア等）」に修正する。 |
| 59 | 仕様書 | 2 | 1.3.5. | 5.業務追加・変更への柔軟な対応」においてこれらの機能を利用して新規帳票や機能の追加を行うのはシステム担当職員との認識でよろしいでしょうか。また、作成された帳票や機能の管理（NEDO職員機能一覧やNEDO職員帳票一覧の管理も含む）は職員様にて実施いただく認識でよろしいでしょうか。 | 帳票様式設定機能を用いた帳票様式の追加・変更および登録帳票の管理は、システム管理担当の職員により実施する想定です。 ノーコード機能は、業務変更発生時に、ベンダによる機能開発までの暫定機能を作成する想定であり、当該暫定機能の追加・変更および管理も帳票様式と同様にシステム管理担当の職員が実施する想定です。 | 無 | |
| 60 | 仕様書 | 7 | 1.4.図2 | 図3にはASPが存在しますが、図2では存在しません。どちらが正しい状態でしょうか。 | 図2は次期のシステム利用イメージを示しており、図3は現行システム構成を示しています。 | 無 | |
| 61 | 仕様書 | 8 | 1.4.表2 | 新和財管理システムに対する移行作業は本調達の範囲外という認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 62 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | PMSの刷新範囲は凡例の「PMS範囲」に該当する箇所と認識してよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 63 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | PMS刷新に伴う稼働基盤については既存のOCIを利用する等の製品指定はないという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 64 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | PMS範囲をOCI以外のクラウド環境にて実装する際、既存のOCI基盤側との間に業務で利用する専用回線のインターフェースが必要となった場合は専用回線のポートはご用意いただけるとの認識でよろしいでしょうか。 | 既存環境に変更を加える作業については現行事業者に依頼する予定です。 | 無 | |
| 65 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | 運用管理サーバは刷新範囲対象外となっています。一方3.3.(1)や3.5.(7)に運用管理サーバの記載があります。運用管理サーバは現在使用しているサーバをそのまま継続使用し、必要なソフトウェアや設定などを追加する前提でしょうか。それとも新規の運用管理サーバを新規に構築することも可能でしょうか。 | 次期PMSで利用する運用管理サーバは本調達範囲で新規に構築予定です。一方、現在使用している運用管理サーバは、次期では周辺の既存システムの運用管理のために継続利用予定です。 | 無 | |
| 66 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | 既存の運用管理サーバにソフトウェアなどの追加を行う必要がある場合、その作業は「プロジェクトマネジメントシステム等のクラウド基盤への移行及び運用保守等業務」が行う作業となるでしょうか。 | 次期PMSで利用する運用管理サーバは本調達範囲で新規に構築予定であり、既存の運用管理サーバへのソフトウェアの追加等は想定しておりません。 | 無 | |
| 67 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | 現行PMSのシステム構成の概要は図3に記載されておりますが、次期PMS向けのサーバ構成（台数、スペックなど含む）は提案に含むものという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 68 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | 関連システム（認証サーバや会計システム等）は次期PMS稼働後も当面は現状の環境に残る認識でよろしいでしょうか。また、次期PMSへの接続に当たり関連システムのアプリ、基盤ともに設定変更が必要になる場合は既存の保守ベンダーが関連システム側の設定変更を行う認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 69 | 仕様書 | 8 | 1.4.(3)図3 | 以下のそれぞれの項目のうち本調達の範囲となるものはどれでしょうか。また、それぞれ何個用意する必要があるでしょうか。 ・PMS用サブドメインの管理 ・PMSへのInternetアクセス用のグローバルIPアドレスの管理 ・PMS用サブドメインのHTTPS証明書の管理 | ご質問いただいた各項目について、現時点での本調達範囲および必要数の想定は以下の通りです。 1. PMS用サブドメインの管理 調達範囲：本調達に含まれる予定です。 必要数：原則としてPMSシステム用に1個のサブドメインを用意する想定です。 2. PMSへのInternetアクセス用のグローバルIPアドレスの管理 調達範囲：本調達に含まれる予定です。 必要数：PMSの公開用サービス（Webアプリ/API等）の構成に応じて1個以上必要となりますが、現時点では1個で運用可能と想定しています。 （ただし、冗長化や分散構成の場合は追加が必要となる可能性があります） 3. PMS用サブドメインのHTTPS証明書の管理 調達範囲：本調達に含まれる予定です。 必要数：上記サブドメインに対応するHTTPS証明書が1枚必要となります。 なお、実際の必要数は、構成設計次第という認識でございますので、応札者からのご提案に依存すると理解しております。 | 無 | |
| 70 | 仕様書 | 9 | 1.6. | MDMフェーズ2のスケジュールが次期PMS構築の詳細設計後となるため、次期PMSにもつマスターデータのレイアウトに合わせてMDMから連携していただけるという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 71 | 仕様書 | 10 | 2.1. | 【マルチデバイス利用】について、スマートフォンなどからのアクセスは貴機構が職員に貸与している機器に限定するという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 72 | 仕様書 | 10 | 2.1. | スマートフォンやタブレットからのアクセスを想定されていますが、対象の機器カテゴリ（スマホ、タブレット）・OS・バージョン・ブラウザを業務システム単位にご教示ください。 | 対象機器は、PCおよびスマートフォンとなり対象OSはWindowsおよびiOSを想定しております。 | 無 | |
| 73 | 仕様書 | 12 | 表3 機能一覧 | 他システム連携で現行PMSでは、他システムがDB-Linkを用いて現行PMSのデータを参照していますが、DB-Linkによるデータ連携方式は廃止と認識でよろしいでしょうか。 | 調達仕様書上から読み取れない内容への指摘のため、公平性の観点から回答対象外とし、本公示における資料閲覧にて開示を予定します。 | 無 | |
| 74 | 仕様書 | 12 | 表3 機能一覧 | 他システム連携で現行PMSでは、他システムが参照するための、旧PMS（現行PMSの前のシステム）のテーブル構造を持ったテーブルが存在します。それらのテーブルは次期PMSで廃止となる認識でよろしいでしょうか。 | 調達仕様書上から読み取れない内容への指摘のため、公平性の観点から回答対象外とし、本公示における資料閲覧にて開示を予定します。 | 無 | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-----|---------|---------------------|---|--|-------------|------|
| 75 | 仕様書 | 15 | 表3 機能一覧-基本機能-文書一覧表示 | システムに実装される帳票数のご提示をお願いいたします。その際、どの帳票がどの方式にあたるのかご提示をお願いいたします。 パターンA：Web入力形式（Web・構造化） パターンB：ファイルインポート形式（ファイル・構造化） パターンC：ファイルアップロード形式（ファイル・非構造化） | 本公示の際に、帳票要件を含む要件定義書（案）を開示します。 | 無 | |
| 76 | 仕様書 | 17 | 表3 機能一覧-システム間連携 | 機能一覧に〇〇〇システムへ連携とありますが、対象について外部インターフェース一覧のご提示をお願いします。送受信システム（FROM-TO）・連携方式（API・ファイル送受信など）・想定件数・周期（日次・随時、その他）も合わせてご教示をお願いします。 | 本公示の際に、IF要件を含む要件定義書（案）を開示します。 | 無 | |
| 77 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | 「システムのサービス提供時間は「原則として」毎日7:00～23:00とする。」とありますが、この提供時間から変動させる（特に拡大する必要があるケースはどのようなものがあるか）ご教示をお願いします。またその発生頻度やその場合に稼働時間をどのように調整すべきかについてもご教示をお願いいたします。 | いくつか想定されるケースはあると考えておりますが、「利用者からの要望により、一時的に提供時間を拡大する必要がある場合」や「利用者の集中が見込まれる特定期間」などが主になります。稼働時間を変更する必要がある場合には、事前に関係者間で協議の上、利用者への周知を行ったうえで、臨時に提供時間を拡大するなど柔軟に対応することを想定しております。 | 無 | |
| 78 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | 「サービス提供時間ではない時間」は「ユーザがシステムにWebアクセスしての利用はできないが、システムとしてはバックエンドの連携等を行って停止していない時間」、「システム計画停止時間」は「バックエンド処理含めシステム内での処理は行わない時間」という認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 79 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | サービス時間の拡充が求められる場合とありますが、いつ頃を想定しているでしょうか。確定していないのであれば、6:00～24：00を想定して体制を検討しますがよろしいでしょうか。 | サービス提供時間の拡充とは、サービス提供時間以外の時間帯も対象となることを指しております。体制検討にあたっては、ご提示されているような前提条件を設定した上でご検討いただいても問題ないと考えております。 | 無 | |
| 80 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | 運用スケジュールを適用する対象機能は「ANEDO機能群」「B.事業者機能群」「C.成果報告管理機能群」の3機能群すべてが対象という理解でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 81 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | 運用スケジュールを適用する対象環境は本番環境であり、ステージング環境と検証環境については本運用スケジュールの対象外という認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 82 | 仕様書 | 20 | 3.1.(1) | 「外部システムとの連携含むバッチ処理」とありますが、外部システムとの連携に必要なバッチ処理一覧をご教示ください。 | 次期システムでの具体的なバッチ処理一覧につきましては、現時点ではまだ確定しておりません。今後の要件定義や設計の過程で詳細を整理し、必要な処理一覧を明確にしていく予定です。 | 無 | |
| 83 | 仕様書 | 20 | 3.1.(4) | RTO(目標復旧時間)が4時間以内とありますが、基盤系の障害によるシステム停止の場合という認識でよろしいでしょうか。 | システムに対するRTOとなりますので、特定の障害（基盤系のみ、アプリケーションのみ等）に限定せず、システム停止を伴うあらゆる障害を対象としています。 | 無 | |
| 84 | 仕様書 | 21 | 3.1.(6) | リージョン全体の障害への対応において、データの遠隔地バックアップが挙げられておりますが、他システムも同様に同じ断面でのデータを保持、復旧できるという前提でよろしいでしょうか。 | 本要件は、自システム単独でのデータ保全と復旧体制を確立することを第一の目的としています。その上で、可能な範囲で他システムとの連携や全体最適も今後検討してまいります。 | 無 | |
| 85 | 仕様書 | 21 | 3.2.(1) | ユーザ数の想定の内、外部ユーザは約20,000人となっていますが、事業者ユーザと成果報告管理機能を利用するユーザはそれぞれ規模が違うと想定します。事業者ユーザと成果報告管理機能利用ユーザのそれぞれの想定ユーザ数をご教示ください。 | ご要望いただきました外部ユーザに関する情報につきましては、開示可能な範囲で閲覧資料で掲示いたします。 | 無 | |
| 86 | 仕様書 | 21 | 3.2.(1) | 本項目の記載は2025年度時点の値と想定しておりますが、次期PMSの想定ライフサイクルは何年程度であり、ライフサイクル完了時（次期PMS稼働最終年度）の内部ユーザ数、外部ユーザ数、アクセス規模はそれぞれ何件程度を想定しているでしょうか。 | 本公示の際に閲覧資料として提示予定の要件定義書（案）においては、ライフサイクル期間や利用者数などの増加率について記載いたします。 | 無 | |
| 87 | 仕様書 | 21 | 3.2.(1) | ライフサイクル完了時のデータ量（プロジェクト件数、契約件数、文書件数、成果報告件数）の想定をご教示ください。 | 本公示の際に閲覧資料として提示予定の要件定義書（案）においては、データ量の増加率について記載いたします。 | 無 | |
| 88 | 仕様書 | 21 | 3.2.(2) | 画面表示にかかる時間は接続元の端末性能や回線状況によって影響される値であると認識しています。「特殊な検索など」については個別に協議とする旨の記載がありますが、全体の画面表示時間についても詳細な計測方法等は別途協議により最終決定するという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 89 | 仕様書 | 22 | 3.3.(2) | 「軽微な改修を年20件」とありますが、例えば、年度末直前に20件全件を対応することは難しいため、月ごとの対応件数を設ける、年度末対応の締め切りを設ける等、実施可能な条件を事前に定義することは可能でしょうか。 | ご提案いただいた「月ごとの対応件数の上限設定」や「年度末対応の締め切り設置」については、必要に応じて検討させていただきたいと考えております。 | 無 | |
| 90 | 仕様書 | 22 | 3.3.(2) | 「運用・保守計画書やマニュアルを整備・定期的に見直し」とあるが、改定の頻度は、提案の範疇と認識してよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 91 | 仕様書 | 22 | 3.3.(3) | 「運用時間は24時間365日(または発注者と合意した時間)」とありますが、ここで発注者と調整できる範囲をご教示ください。 | 運用時間については、基本的に24時間365日対応を前提としてご検討いただきたいと考えております。「発注者と合意した時間」との記載は、特別な事情ややむを得ない場合に限り、双方合意の上で一時的に運用時間を調整する場合を想定したものです。 | 無 | |
| 92 | 仕様書 | 22 | 3.3.(4) | ヘルプデスクとは別に24時間365日対応可能な運用監視体制とは、サーバーログ等、24時間監視を行うチームを本調達内で準備するという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 93 | 仕様書 | 22 | 3.3.(5) | 情報セキュリティ監査に協力することとありますが、監査の内容とその実施頻度をご教示ください。 ※「P48 6.4 情報システム監査」の記載も同様 | 情報セキュリティ監査へのご協力についてですが、現時点では監査の具体的な内容や実施頻度について確定している事項はございません。 | 無 | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-----|---------|--------------|--|--|-------------|------|
| 94 | 仕様書 | 23 | 3.1(6) | リージョン全体の障害への対応において「リージョン全体に障害が発生した場合に備え、データを遠隔地(他リージョン等)へバックアップ保管すること」との記載がありますが保存先のリージョンについては国内、国外の制限は特にないものと認識でよろしいでしょうか。 | 基本的には国内を想定しております。 | 無 | |
| 95 | 仕様書 | 23 | 3.4.(2) | 「段階移行方式を採用し」とありますが、段階的に移行するのであればサービス開始が2027年1月からとはならず、段階移行を開始した時点でサービス開始になると認識しています。仕様書図4の「移行」の段階で、該当する新システムの機能、移行済み案件は新システムで稼働させるという認識でよろしいでしょうか。 | 新システムの稼働開始については、現時点では2028年1月を目指していることが前提となります。 移行方式につきましては、段階移行の進め方やタイミングについて、受注者側にもご検討いただき、2028年1月の本格稼働に向けた移行計画の策定をお願いしたいと考えております。 | 無 | |
| 96 | 仕様書 | 23 | 3.4(3) | システム移行において「現行システムの機能・設定・インターフェース等をクラウド環境へ確実に移行すること」との記載がありますが現行システムの稼働基盤にて提供されている機能、設定は提示されるとの認識でよろしいでしょうか。 | システム移行にあたり、現行システムの機能・設定・インターフェース等、移行に必要な情報については、必要に応じて提供できるよう対応いたします。 | 無 | |
| 97 | 仕様書 | 23 | 3.4(3) | データ移行において「現行システムの必要なデータ(業務データ、ユーザ情報、ログ等)を正確かつ安全に新環境へ移行すること」との記載がありますが既存のOCI基盤側との間に専用の移行用回線が必要となった場合は移行用回線の専用ポートはご用意いただけるとの認識でよろしいでしょうか。 | データ移行に際して専用の移行用回線や専用ポート等、必要となる要件をご提示いただければ、可能な限り対応する想定です。 | 無 | |
| 98 | 仕様書 | 23 | 3.4.(3) | 現行の外部ストレージに格納されている各種オブジェクトは移行対象外と認識してよろしいでしょうか。 | 調達仕様書上から読み取れない内容への指摘のため、公平性の観点から回答対象外とし、本公示における資料閲覧にて開示を予定します。 | 無 | |
| 99 | 仕様書 | 23 | 3.4.(3) | 各種帳票はアップロードされているオブジェクトをそのまま移行する認識です。非構造化データから構造化される項目については貴機構にて移行用データを用意いただく認識でよろしいでしょうか。なお受注者側で対応が必要な場合、現行システムでファイルまたは非構造化しているデータが構造化されるデータ量をご教示ください。 | 非構造化データから構造化される項目の移行用データ作成につきましては、基本的には受注者にご対応いただくことを想定しております。現時点では現行システムにおける該当データ量の具体的な数値はお示しできませんが、参考として帳票の一覧につきましては閲覧資料にて提示予定です。 | 無 | |
| 100 | 仕様書 | 24 | 3.4.(3) | データクレンジングについて、ここでのクレンジングは基本的にトランザクションの事であると認識してよろしいでしょうか。マスタについては、MDM、情報系システムでクレンジングが実施されている認識で、次期PMSはクレンジング済のマスタが配信される認識です。(次期PMSのみで持つ標準化されないマスタは除く) | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 101 | 仕様書 | 24 | 3.4.(3) | データクレンジングについては、移行時に変換ロジックで対応するものと、未入力や不正な値など元データ（現行システム）を修正する必要がある場合があると考えます。この場合、データバッチは行わず現行システム上で修正する認識でよろしいでしょうか。(現行システムで変更できない不備は別途検討。) | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 102 | 仕様書 | 24 | 3.5.(3) | セキュリティ診断を外部に依頼したあと、問題があった場合、プログラムの修正、設定変更後に再度外部の診断を受ける必要があるでしょうか。 | セキュリティ診断の結果、問題が確認された場合には、必要に応じてプログラムの修正や設定変更後、指摘された診断結果の重要度を踏まえ、再度外部診断の実施が必要となる可能性はございます。 | 無 | |
| 103 | 仕様書 | 24 | 3.5.(3) | 「外部向けWebサイトについては、定期的にWebアプリケーション診断を実施すること。」とありますが、定期的の頻度について具体的なご指示をお願いします。 | 「定期的なWebアプリケーション診断」の頻度につきましては、設計フェーズにおいて、受注者からの提案を基に協議の上で最適な頻度を決定する予定です。 | 無 | |
| 104 | 仕様書 | 24 | 3.5.(5) | 「事業者向け外部サイトでは多要素認証を実施すること。」とありますが、多要素認証は採用する方法で認証の強度などが異なり、かつ実装方式によって導入コスト、運用コストも異なってきます。どのような多要素認証を実施することを想定しているのかご教示をお願いします。 | 多要素認証の具体的な方式につきましては、認証の強度や導入・運用コスト等も踏まえ、受注者にて最適な方式をご提案いただくことを期待しております。 | 無 | |
| 105 | 仕様書 | 24 | 3.5.(10) | 「Webアプリケーションのセキュリティ診断・脆弱性対応を定期的に実施すること。」とありますが、定期的の頻度について具体的なご指示をお願いします。 | 設計フェーズにおいて、受注者からの提案を基に協議の上で最適な頻度を決定する予定です。 | 無 | |
| 106 | 仕様書 | 24,25 | 3.5.(3),(10) | (3)セキュリティ診断、(10)Web対策Webアプリケーション診断の実施方法や診断プログラムや診断企業選定について、必要な認定等の指定はあるでしょうか。 | 現時点で指定等は特段ございません。 | 無 | |
| 107 | 仕様書 | 24,25 | 3.5.(3),(10) | (3)セキュリティ診断、(10)Web対策実施方法について、例えば本番環境での診断実施は業務影響が発生する可能性があるため、本番システムサービスを停止する。検証環境で診断を行う等の調整は可能でしょうか。 | 診断の実施方法につきましては、業務への影響や作業環境等を踏まえ、受注者から最適な方法をご提案いただくことを期待しております。 | 無 | |
| 108 | 仕様書 | 24 | 3.5.(3),(10) | (3)セキュリティ診断、(10)Web対策Webアプリケーションのセキュリティ診断や脆弱性対応について「定期的の実施」と記載されていますが、頻度（年1回程度等）の指定はあるでしょうか。 | 「定期的なWebアプリケーション診断」の頻度につきましては、設計フェーズにおいて、受注者からの提案を基に協議の上で最適な頻度を決定する予定です。 | 無 | |
| 109 | 仕様書 | 24,37 | 4.6.(3) | P24 1行目「データ移行では、・・・データクレンジングが必要となるモジュールの検討・実装を実施すること」とありますが37ページの「現行業者がデータの抽出・提供・移行支援を円滑に実施できるよう」と実施者に矛盾があると思われます。どちらの記載が正しいでしょうか。 | 移行作業の主体は本調達の受注者となりますが、現行システムからのデータ抽出や必要な支援については、現行事業者が受注者をサポートすることを想定しております。 | 無 | |
| 110 | 仕様書 | 26 | 4.1. | 契約締結後5営業日以内に「設計・開発実施計画書（案）」、「設計・開発実施要領（案）」については案をご提示し、詳細についてはその後レビュー等を経て完成版にするという段取りを想定しておりますが、認識は合っておりますでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-----|---------|---------------------|--|---|-------------|------|
| 111 | 仕様書 | 28 | 4.1.(4)品質管理 | 本調達とは別の「仕様書_次期プロジェクトマネジメントシステムの調達に伴う支援業務.pdf」では P6 ⑥品質管理 「プロジェクトの進行に応じた品質評価基準を定め…」とありますが、品質評価基準は、工程管理支援業者の基準と受注者の品質評価基準どちらを適用するのでしょうか。 | 品質評価基準については、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 | 無 | |
| 112 | 仕様書 | 28 | 4.4.(4)変更管理③ (ア) | 「要件の追加・変更が発生した場合は、変更管理委員会で審議・承認を受けること」とありますが、この審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。 | 変更管理は、受注者が作成・提案する実施計画書内のプロジェクト管理方法に沿って運用する予定です。 実施計画書（案）は受注者が作成し、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1～2週間程度」を目安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。 | 無 | |
| 113 | 仕様書 | 28 | 4.1.(4)変更管理③ (ア) | 「変更管理委員会」の構成メンバーをご教示ください。 | 変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 | 無 | |
| 114 | 仕様書 | 28 | 4.4.(4)変更管理③ (イ) | 「設計書・仕様書の変更は変更申請書により申請し、重要な変更は変更管理委員会で承認を得ること」とありますが、この審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。 | 変更管理委員会による審議・承認プロセスは、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1～2週間程度」を目安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。 | 無 | |
| 115 | 仕様書 | 28 | 4.1.(4)変更管理③ (イ) | 「変更管理委員会」の構成メンバーをご教示ください。 | 変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 | 無 | |
| 116 | 仕様書 | 28 | 4.4.(4)変更管理③ (ア) | 「テスト計画・仕様の変更は変更管理台帳に記載し、重要な変更は変更管理委員会で承認を受けること」とありますが、この委員会とはどのような委員会でしょうか。またこの審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。 | テストフェーズにおける変更管理委員会とは、テスト計画やテスト仕様書に関する重要な変更（テスト範囲の見直し、テスト方法、品質基準、スケジュール変更、等）が発生する場合に、変更による影響範囲、リスクおよびその対策等について関係者間で協議し、変更をプロジェクトとして許容するのか審議・承認するための委員会を指します。 具体的な変更管理委員会による審議・承認プロセスは、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1～2週間程度」を目安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。 | 無 | |
| 117 | 仕様書 | 28 | 4.1.(4)変更管理③ (ア) | 「委員会」の構成メンバーをご教示ください。 | 変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 | 無 | |
| 118 | 仕様書 | 29 | 4.4.(4)③(Ⅰ) | 「移行手順や対象データの変更は変更管理台帳に記載し、リスク評価のうえ、必要に応じて委員会承認を得ること」とありますが、この委員会とはどのような委員会でしょうか。またこの審議～承認はどの程度の期間を想定しているのでしょうか。 | 移行フェーズにおける変更管理委員会とは、移行に関する重要な変更（移行方法の切り替え、移行対象データ範囲の追加・変更、スケジュール変更、等）が発生する場合に、変更による影響範囲、リスクおよびその対策等について関係者間で協議し、変更をプロジェクトとして許容するのか審議・承認するための委員会を指します。 具体的な変更管理委員会による審議・承認プロセスは、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 なお、プロジェクト管理方法や変更内容の重要度・緊急度により異なりますが、標準的には「1～2週間程度」を目安にかかる想定です。変更の緊急度や内容の重要性に応じて、迅速な対応が求められる場合には、できる限り短期間での審議・承認が行えるよう配慮します。 | 無 | |
| 119 | 仕様書 | 29 | 4.1.(4)③(Ⅰ) | 「委員会」の構成メンバーをご教示ください。 | 変更管理委員会の構成メンバーや具体的な体制は、受注者が作成する実施計画書（案）でご提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。 | 無 | |
| 120 | 仕様書 | 30 | 4.1.(4) | 「報告は原則として対面開催」とありますが、対面会議を実施する場所をご教示ください。 | 川崎・品川・霞が関近郊の事務所を想定しております。 | 無 | |
| 121 | 仕様書 | 30 | 4.2. | 「受注者は、設計開発の実施に先立ち、…要件の漏れや齟齬がないことを確認すること。」と記載がありますが、「要件の漏れや齟齬がないこと」は要件定義書（案）と何を比較して確認を行う前提でしょうか。 | ご指摘の「要件の漏れや齟齬がないこと」については、本調達において要件定義書（案）を最終的な確定版とすることを求めています。 要件の抜け漏れや齟齬の確認方法につきましては、応札者各社のご提案に委ねる方針としております。 | 無 | |
| 122 | 仕様書 | 30 | 4.3.(1) | 「ソリューションに含ませた詳細な要件定義」と記載されていますが、基盤で採用するクラウドサービスやDBMSの選定も提案した製品が採用されるという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 123 | 仕様書 | 34 | 4.4. | 現PMSおよび会計などの周辺システムの既存のステージング・検証環境とは別に次期PMS切替え期間や検証期間に向けたテスト環境が必要と考えますが構築は可能でしょうか。 | 接続は可能だが、次期では疎結合を目指しており、DBリンク等の直接的な連携は想定しておりません。 そのため、既存へ影響出さずにステージング・検証環境への接続可能と想定しております。 | 無 | |
| 124 | 仕様書 | 35 | 4.4 | 単体テスト、結合テスト、総合テストの仕様書について、「発注者の了承を得たうえで、テストを実施すること。」とありますが、試験仕様書は膨大な分量になるため、本体内容のレビューではなく、計画、概要の説明などをこし承りいただきテストを実施するという段取りにすることは可能でしょうか。 | テスト仕様書が膨大な分量となる場合、全体の計画書やテスト方針、試験概要等を中心に発注者へ説明いただいたうえで、特性や内容に応じて一部サンプリングやポイントレビュー等の方法で確認する運用をとることも可能です。 詳細なレビュー手順やレビュー範囲・承認方法については、受注者から提案いただき、受注者と発注者の協議・合意の上確定します。なお、重要機能やリスクの高い部分については、発注者の要望に応じて個別に詳細レビューを行う場合がございます。 | 無 | |
| 125 | 仕様書 | 35 | 4.5. | 受入テスト計画書の作成について、要件では受注者がテストシナリオの概要や可否安定基準、品質評価方法などを作成する旨の記載になっていますが、本件は発注者側で決定すべき事項であると認識しております。これらについて要件から除外することは可能でしょうか。 | 受入テストの主管は発注者となりますが、各種ドキュメントや評価に関する案の作成・ご提案については、受注者にご支援いただくことを想定しております。 | 無 | |
| 126 | 仕様書 | 35 | 4.5. | 受入テストの仕様書について、受注者としては必要な情報提供や内容のレビュー支援は可能ですが、仕様書自体は発注者が主体で策定すべきものと認識しております。これらについて要件から除外することは可能でしょうか。 | 受入テストの主管は発注者となりますが、各種ドキュメントや評価に関する案の作成・ご提案については、受注者にご支援いただくことを想定しております。 | 無 | |

| 意見番号 | 文書名 | 頁番号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書修正有無 | 修正内容 |
|------|-----|-----|----------------------|---|---|---------|--|
| 127 | 仕様書 | 36 | 4.6. | 移行対象のマスタおよびトランザクションの想定本数をご提示いただくことは可能でしょうか。MDMのフェーズ1でのマスタは情報系での参照及びDB連携の方式変更が目的でありマスタでないものも対象となっている認識です。なお、フェーズ2において見直しが行われる認識です。 | 現時点では移行対象のマスタおよびトランザクションのデータについて、論理レベルでの具体的な想定本数まではご提示できませんが、本公示の閲覧資料および今後提示予定の要件定義書（案）にて、データ要件に関する内容をお示しする予定です。 | 無 | |
| 128 | 仕様書 | 36 | 4.6. | マスタの移行については、MDMで共通化されないPMSのみで使用するマスタのみの認識でよろしいでしょうか。共通化されるマスタはMDMチームにて移行する認識で本調達の範囲外と認識しております。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 129 | 仕様書 | 36 | 4.6. | 次期PMSに移行するトランザクションの現行ベースの本数・件数をご教示ください。 | 現時点では移行対象のマスタおよびトランザクションのデータについて、論理レベルでの具体的な想定本数まではご提示できませんが、本公示の閲覧資料および今後提示予定の要件定義書（案）にて、データ要件に関する内容をお示しする予定です。 | 無 | |
| 130 | 仕様書 | 37 | 4.6.(2) | 「現行業者がデータの抽出・提供・移行支援を円滑に実施できるよう」とありますが、現システムからのデータ抽出は現行業者の作業であり本調達の見積範囲外と認識してよろしいでしょうか。 | 移行作業の主体は本調達の受注者となりますが、現システムからのデータ抽出や必要な支援については、現行事業者が受注者をサポートすることを想定しております。 | 無 | |
| 131 | 仕様書 | 37 | 4.6.(3) | データ移行ツールとは、現システムから抽出された、あるいは手動作成したデータを次期PMSに取り込む機能という認識で合っているでしょうか。 | ご認識の通り、現システムから抽出されたデータや手動作成されたデータを次期PMSのデータ形式へ変換し取り込む機能を想定しております。具体的な移行方式を踏まえ、必要となる機能や詳細設計については受注者にて検討・設計いただくことを期待しております。 | 無 | |
| 132 | 仕様書 | 38 | 4.7.(3) | 「演習環境を用意すること」とありますが、本環境は仕様書図4中での「教育」の「NEDO職員教育」、「事業者教育」の期間に準備するという認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。スケジュールについては現時点での想定となるため、受注者側から必要となる期間を検討・設計いただくことを期待しております。 | 無 | |
| 133 | 仕様書 | 38 | 4.7.(3) | 教育対象者が操作を体験できる演習環境について、受注者が準備すべきものは、試験環境への接続設定や演習用アカウントの準備という認識でよろしいでしょうか。ここで端末の準備は不要でしょうか。また、演習環境は本番環境とは別のステージング環境や検証環境を活用する前提でも問題ないで消化。 | 教育の内容や実施方法につきましては、どのような教育を実施されるかを含め、受注者にて検討いただくことと考えています。それに伴い、教育に必要な環境についても、受注者様にてご用意いただくことを基本としつつ、端末の準備や環境の提供についてはNEDO側で対応可能も含めて、今後協議の上で決定していく想定です。 演習環境については、本番環境とは別のステージング環境や検証環境を活用する形で問題ございません。 | 無 | |
| 134 | 仕様書 | 38 | 4.7.(3) | 講義形式での教育を実施する場合、実施場所は貴機構内で実施する前提でよろしいでしょうか。 | 講義形式での教育の実施場所につきまして、NEDO職員に対しては原則として弊機構内での実施を想定しております。 | 無 | |
| 135 | 仕様書 | 39 | 4.9 | 引き継ぎ先が構築ベンダーと別ベンダーとなるか否かが確定する時期はいつ頃を想定しているでしょうか。基本的には、準備や引継ぎ作業を含めて3月末までに全ての引き継ぎが完了しなければならぬとの認識です。 | ご認識の通り、本調達期間が完了する前までに引継ぎが行われる必要があります。その前提の受け、引継ぎ計画等を両者にて検討いただく想定です。 | 無 | |
| 136 | 仕様書 | 39 | 4.10.(1) | 定例会を週1回程度開催する旨の記載がありますが、これは設計・開発フェーズであり、運用・保守フェーズには適用されないと認識してよろしいでしょうか。 | 設計・開発フェーズでは、定例会を週1回程度開催する運用を必須とします。運用・保守フェーズについては、プロジェクトの進捗状況や業務内容に応じて、定例会の頻度や開催方法を設定します。 | 無 | |
| 137 | 仕様書 | 41 | 4.13.(1) No.5 | 「設計・開発工程の各種会議資料(進捗状況報告、課題管理表、リスク管理表等)」の関連工程が「要件定義工程」となっていますが、要件定義工程以降の工程における各種会議資料は、成果物に含まれないのでしょうか。 | 誤植であり、全工程における各種会議資料が成果物となるため、修正いたします。 | 有 | 「各種会議資料（進捗状況報告、課題管理表、リスク管理表等）」「工程：全工程」に修正する。 |
| 138 | 仕様書 | 42 | 4.13.(1) No.14,15 | 成果物に含まれる「テスト証跡」、「テストデータ」について、提示が必要な工程をご教示ください。（単体／結合／総合テスト全各工程の全てが必須か。） また、テストデータの量は膨大なため、全データを納品すると容量が相当大きくなるため、媒体はBD、USB等を利用すてもよろしいでしょうか。 | 納品範囲となる「テスト証跡」、「テストデータ」および利用媒体については、発注者と協議の上、決定します。 | 無 | |
| 139 | 仕様書 | 43 | 4.13.(1). No.29.No31 | 「29 年度報告書」、「31 完了報告書」等、2029年3月31日（土）が納品期限となっている納品物が存在しています。土曜日は貴機構の営業日ではない認識ですが、これらの納品タイミングについては別途協議という認識でよろしいでしょうか。 | 本調達では運用・保守も範囲に含まれているため、このような記載内容となっております。 | 無 | |
| 140 | 仕様書 | 44 | 4.14 (8) | 「強制バージョンアップや計画的な技術アップデート」は、本システムだけでなく、本システムと連携する関連システムにおいても発生すると認識しており、その発生回数に応じて、「影響評価と連携テスト(稼働確認)」を実施する必要があるため、「強制バージョンアップや計画的な技術アップデート」の発生頻度をお示し下さい。 | ご意見いただいた件における発生頻度の参考値は現時点でございません。 | 無 | |
| 141 | 仕様書 | 45 | 5.1. | 項番5の「組織又は要員」にシステム設計・開発・保守チームとありますが、保守は対象外という認識でよろしいでしょうか。（保守が誤記との認識です。） | ご指摘のとおり、誤植であったため修正いたします。 | 有 | 「システム 設計・開発チーム」に修正する。 |
| 142 | 仕様書 | 46 | 5.3.(1) | 「設計・開発業務/運用・保守業務」の作業場所は、受注者の責任において用意すること。また、必要に応じて担当職員が現地確認を実施することができるものとする。」とありますが、貴機構職員が現地確認を行う具体的なケースとしてどのような状況を想定しておりますでしょうか。またその想定頻度をご教示ください。 | 現地確認の具体的なケースとしては、作業現場のセキュリティ状況や作業体制の確認、業務の進捗状況の把握等、必要に応じて実施することを想定しております。 現地確認の実施頻度については、あらかじめ具体的な回数等を定めず、必要に応じて実施するため、現時点ではお示しできません。 | 無 | |
| 143 | 仕様書 | 46 | 6.1. | 情報取扱者名簿に国籍、住所、生年月日、パスポート番号の記載を求める要件について、個人情報保護の観点から過剰な情報収集に該当する可能性があります。 業務遂行に必要な範囲として、氏名・所属・役職程度で十分と考えます。提出義務を再検討いただけますでしょうか。 | 情報取扱者名簿に関するご指摘について、原則として氏名・所属・役職等、業務遂行に必要な範囲の情報をご提出いただくことを想定しております。 一方で、「本業務の情報取扱者の個人住所、生年月日、パスポート番号を発注者から求められた場合」と記載している通り、特定の状況において、発注者側がその理由を明確にしたうえで追加情報の提示をお願いする場合（経済安全保障推進法などを踏まえ）がございます。 この場合に限り、必要性・目的を説明した上で、追加項目のご提出を求めることがあり得ます。 | 無 | |
| 144 | 仕様書 | 46 | 6.1.(1) | 「本業務の情報取扱者の個人住所、生年月日、パスポート番号を（中略）提出すること」とあります。個人住所の提出を求められるケースは利用目的を明確にいただく必要があると認識しておりますが、これらの提示は必要でしょうか。 | 情報取扱者名簿に関するご指摘について、原則として氏名・所属・役職等、業務遂行に必要な範囲の情報をご提出いただくことを想定しております。 一方で、「本業務の情報取扱者の個人住所、生年月日、パスポート番号を発注者から求められた場合」と記載している通り、特定の状況において、発注者側がその理由を明確にしたうえで追加情報の提示をお願いする場合（経済安全保障推進法などを踏まえ）がございます。 この場合に限り、必要性・目的を説明した上で、追加項目のご提出を求めることがあり得ます。 | 無 | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|----------|---------|---------|---|--|-------------|------|
| 145 | 仕様書 | 48 | 6.4.(2) | 情報システム監査で指摘された問題点の是正にかかる作業について、本調達内が追加契約での対応とすべきかは状況によって協議が必要であると認識しております。 【契約内】基盤やMWの設定変更程度で対応可能な問題点の対応 【別途契約】アプリケーションの修正を伴う必要がある問題点への対応 | ご認識の通り、情報システム監査で指摘された問題点の是正作業については、本調達の範囲内で対応するか、追加契約での対応とするかは、個別の状況に応じて発注者・受注者間で協議のうえ決定させていただくこととなります。 | 無 | |
| 146 | 仕様書 | 49 | 7.2 | 契約不適合の期間については、発注者が発見後1年以内に受注者へ通知することができるという契約条項を想定しておりますが、実際に費用積算する場合、有識者等を配置したサポート体制の維持含め、非現実的な高額な費用になるのが実態のため、検収後1年以内とすべきと考えます。 | 契約条項の変更予定はないため、本調達時に示す契約条項を確認してください。 | 無 | |
| 147 | 仕様書 | 50 | 9.1.(1) | サプライチェーンリスクに関する一覧を提出する期限が何時でしょうか。 | 本公示の際にご案内申し上げます。 | 無 | |
| 148 | 仕様書 | 50 | 9.1.(6) | 「現行システム」とは2025年度現在稼働している「現行PMS」ではなく、「開発完了後運用保守中の次期PMS」を指す認識でよろしいでしょうか。 | ご認識の内容で問題ございません。 | 無 | |
| 149 | 仕様書 | 全般 | | 本仕様書の調達範囲にBIツールの記載がございませんが、BIツールは情報系システムで利用することで、本調達範囲では不要と認識してよろしいでしょうか。 | 仕様書の調達範囲にBIツールの記載はございませんので、BIツールの調達は必須要件ではなく、本調達範囲には含まれていないと認識いただいて問題ありません。 なお、BIツールの導入や連携についてご提案がある場合は、提案内容を発注者側で評価・検討いたします。 | 無 | |
| 150 | システム化計画書 | 18 | - | 現行PMSでは事業者側でPDFが生成されますが、次期PMSではNEDO職員が「確認」ボタンを押下した場合のみ非構造化データの作成を行い、事業者側で帳票が生成されるケースは無いとの認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 151 | システム化計画書 | 18 | - | 現行ではPMSにのみ存在する文書がありますが、次期では文書システムに保存された文書が正になるとの認識です。既存の契約などを次期システムに移行する際に、既存契約に紐づいているPMSにしか存在しない文書は文書システムに登録が必要でしょうか。必要な場合、登録は文書システム側で実施する前提でしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 152 | システム化計画書 | 27 | - | 約款・交付規定作成システム（仮）の開発スケジュールをご教示いただきたいと思います。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 153 | システム化計画書 | 27 | - | 約款・交付規定作成システム（仮）から、確定版約款・交付規定情報の矢印がPMSに伸びていますが、実際に約款・交付規定の新規登録・更新はNEDO約款・交付規定管理担当にて実施するものと理解しました。その場合、約款・交付規定作成システムとのIF連携が実在するでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 154 | システム化計画書 | 31 | - | 現行ロールの整理（統合できる、削除できるロールの洗い出し）は貴機構（もしくは会計システム側）にて実施いただけるとの認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 155 | システム化計画書 | 33 | - | ダッシュボードのカスタマイズ機能は事業者側は特にカスタマイズの要件が無く、NEDO側TOP画面に対する要件という認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 156 | システム化計画書 | 42 | - | 情報系システムの「データDL設定画面」で契約一覧と同様のエクスポート機能が実装されると認識しております。その場合、本書に記載されているPMSでの契約一覧は不要ではないでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 157 | システム化計画書 | 42 | - | エクスポート機能は既存機能で存在していますが、契約種別毎に分けてCSVを作成しています。今回の要求事項は、契約種別毎にわけず、一覧画面で選択したものを全て一覧で出力することを想定したものでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 158 | システム化計画書 | 45 | - | 承認行為を行う際に、画面で申請内容を確認できるようにリンク等を設けて書類類を確認してから承認ボタンを押下する操作をイメージしたものでしょうか。それとも単純承認のみでしょうか。あるいは、差戻し、コメント入力も想定されていますでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 159 | システム化計画書 | 45 | - | 必要な機能としてはログイン機能（多要素認証（MFA）含む）、ステータス・通知管理、承認業務機能のみと認識してよろしいでしょうか。この場合、承認行為のみであるためNEDO側機能のみと想定しております。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 160 | システム化計画書 | 45 | - | スマートフォンでの利用の場合、ブラウザでの利用を想定し、ネイティブアプリ等はいないという認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 161 | システム化計画書 | 48 | - | 「様式カスタマイズ機能」「新規フロー設定機能」「ステータスカスタマイズ機能」をノーコード、ローコードで対応する認識ですが、別機能として、機能要件定義書に「JPNI11U ノーコード・ローコード開発」が存在しています。本機能とJPNI11Uは同一or別機能であるかをご教示ください。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 162 | システム化計画書 | 51 | - | 「02. 機能要件定義書」にて、下記の関連機能は確認できませんでした。本調達での実現対象外と認識してよろしいでしょうか。 ・チャットボットサポート ・決裁担当管理（現行は文書システム） | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|--------------------------------|------------------------|----------------------------------|--|---|-------------|------|
| 163 | システム化計画書 | 64 | 保管期間 | 各システム（次期PMS、MDM、情報系など）に格納されるデータごと、業務要件に基づいた保管期間を設定するとの、移行対象はこの保管期間相当と考えてよろしいでしょうか。また、想定している保管期間をご教示ください。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 164 | システム化計画書 | 64 | 保管期間 | 保管期間以前のもを移行する場合、移行先は情報系システムになると想定しています。その場合は、本調査の対象外で情報系システム構築の調達の範囲として現行業者の対応となる認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 165 | システム化計画書 | 68 | - | ユーザアクセス認証として多要素認証を用いる方針である旨の記載がありますが、これはVPNへの接続などを想定した内容であり、次期PMSへのアクセスについての記載ではないという認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 166 | システム化計画書 | 85 | - | 移行方式について、段階移行方式を選択されていますが、問題発生時の切り戻しや新旧データ整合性保持の難易度、利用者の過渡期対応の考慮が不足していると思われます。移行方式については受注者の提案により変更可能という認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 167 | システム化計画書 | 86 | - | 段階移行方式を選択した場合、「データ同期方法やデータの整合性担保を実現するロジックの開発が必要」とありますが、これは現行PMS側と連携した開発が必須です。現時点で想定している同期方式や実施頻度（リアルタイム、日次、1時間ごと等）はございますでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 168 | システム化計画書 | 87 | - | 「ユーザ教育」「段階移行方式」「段階的に次期PMSを導入することで・・・時間を確保」との記載がありますが、教育にリスクのある本番環境を利用せずとも、教育環境を使用可能することでも同等の効果が期待できます。教育環境での教育を前提とすることは可能でしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 169 | システム化計画書 | 87 | - | 「段階的に次期PMSを導入・・・時間を確保」の記載について、10月～12月の短期間では段階移行を行っても特定の機能しか利用せず、段階移行のメリットが生じないと想定します。過渡期対応だけのために使用する現行システムの改修とそのリスクは排除するために、段階移行方式採用の見直しを提案することは可能でしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 170 | システム化計画書 | 105 | - | 現行PMSに連名契約が存在していますが、次期PMSにデータを移行する際は、コンソーシアム契約として移行し、連名契約の機能自体は廃止されるという認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 171 | システム化計画書 | 106 | - | 共有フォルダに関する機能がワークフローに記載がないように見受けられますが、共有フォルダとはBOXのことであり、次期PMSには実装されない機能という認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 172 | システム化計画書 | 106 | - | 技組契約では契約が単一ですが、技組配下の事業者は事業者用PMS機能のPJ02A-事業者管理により、PMSユーザーとして登録される認識でよろしいでしょうか。 技組用の共有フォルダを作成する際、事業者用のユーザーが作成されなければ、共有フォルダにアクセスできないと考えられるための確認です。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 173 | 次期PMS_ToBe業務フロー-業務1～11 | シート「4-① 業者選定・契約(委託)」 | ■業務変更（要求事項） | コンソーシアム契約の場合、積算用総括表は複数事業者がそれぞれ項目別明細表を作成し、NEDOに提出するという認識でよろしいでしょうか。 ※実施計画書本文等はコンソーシアムで統一されたものが提出する等 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 174 | 次期PMS_ToBe業務フロー-業務1～11システム化計画書 | シート「4-① 業者選定・契約(委託)」 | 【要求事項】B076 項目別明細表の提出・整理 | 項目別明細表を構造化データとして取り込むには、事業者ユーザーの理解が必要と考えます。アプリケーションを作成ことは技術的に可能ですが、運用にあたっては貴機構から事業者に対して理解を求めているだけの認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 175 | 次期PMS_ToBe業務フロー-業務1～11システム化計画書 | シート「8-① 中間検査(委託)」 | 【要求事項】B016 検査プロセスの効率化 | B016 検査プロセスの効率化に「定量情報と定性情報を基にリスク評価を行い、リスクレベルを自動判定する。」と記載がありますが、定性情報は数値化が困難であり、リスクレベルを自動判定するような処理は難しいと想定されます。こちらについて具体的に処理内容をご教示ください。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 176 | 次期PMS_ToBe業務フロー-業務1～11システム化計画書 | シート「8-① 中間検査(委託)」 | 【要求事項】B021 検査メモの標準化 | スマートフォンでの利用の場合、機能は「ステータス・通知管理」、「承認業務機能」のみと記載がありますが、B021では検査メモのスマホ機能も要求事項として記載されています。こちらの機能はPMS対象外の認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 177 | 次期PMS_ToBe業務フロー-業務1～11システム化計画書 | シート「10-① 確定検査・精算払(委託)」 | 振替伝票を起票する [PMS：JPN05A 検査情報管理] | 振替伝票の起票は全ての業務ケースの場合で発生しますでしょうか。検査額に応じて振替伝票の起票が不要な業務ケースは存在しますでしょうか。 確定検査の検査額対象額が0円の場合、現行PMSでは振替伝票の起票を行っていません。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 178 | 次期PMS_ToBe業務フロー-業務1～11システム化計画書 | シート「10-① 確定検査・精算払(委託)」 | 振替伝票を起票する [PMS：JPN05A 検査情報管理] | GI委託の契約終了時、中断時におけるインセンティブ額や返還額の処理ロジックについては要件の対象外となる認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|---|---|-------------------------------------|---|---|-------------|------|
| 179 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「6-①_ 概算弘 (委託)」 | 【要求事項】B027 複数年度の支払処 理の簡素化 | 「複数年度にわたる支払処理を簡素化（中略）1枚の伝票 で完結できる。」とありますが、複数年度にわたる支払処理に ついては、会計システムも併せて改修するという認識でよろしい でしょうか。 （年度の情報を送付しているため、会計側の処理も修正が 必要になる認識です。） | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 180 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「7_年度 未費用 化」 | フローの最後 | 年度未費用化実施後の遷移先として、確定検査が存在しま せんが、年度末で終了する契約であっても最終年度に年度未 費用化は実施されない想定で相違ありませんでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 181 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」 | 【要求事項】B017 帳票類の提出・整 理 | リスク評価を行う際に検査メモを利用するよという記載になっ ていますが、実際に検査メモの作成は、リスク評価の後に実施 するフローであるため、順序の記載が正しくないと認識しており ます。フローを見直していたくことは可能でしょうか。 あるいは、別の契約の情報（検査メモ、検査結果）について の話でしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 182 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」 | 【要求事項】B017 帳票類の提出・整 理 | ②判定結果を基に契約担当者は「実地検査」、「3表検 査」、「遠隔検査」から検査方式を決定する旨の記載がありま すが、後の図には「書面検査」と「実地検査」のみ記載されて います。検査方式について、「3表検査」と「遠隔検査」は、い ずれも「書面検査を実施する」に該当するのでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 183 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」 | 【要求事項】B017 帳票類の提出・整 理 | 3表検査とは、「遠隔検査と実地検査で3表検査を行う」とい う認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 184 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」 | 検査調書の起案を 実施する | 現行PMSでは検査員が確認した経費発生調書である旨を 記録として残すために、検査調書の承認時に経費発生調書 を「承認」文字を印字するとともに、事業者へ承認通知が行 われます。次期システムでは該当の業務フローは廃止、また は、置き換わっている認識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 185 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「8-①_ 中間検 査(委 託)」 | ■業務変更（要 求事項） | 検査メモを作成・登録するフローの吹き出しに「特に実地検査 においては、検査中にメモを取ることも想定されるところ、それ に合わせてスマートフォン・タブレット向けのアプリ開発も必要で あると想定する」と記載がありますが、本調達の対象ではな いでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 186 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「9-①_ 成果報 告(中間 年 報)(委 託)」 | 【要求事項】S068 業務分類に沿った 機能配置 | AsIsでは、成果報告の接受について「契約文書一覧」の共 通文書一覧機能を用いているが、下記要求事項を踏まえて 業務目的に合わせた機能配置とする」と記載がありますが、 業務と文書を統一するものについては、プロジェクト文書一覧 や契約文書一覧には表示されなくても問題はないという認識 でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 187 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 1～11システム化計 画書 | シート 「4-①_ 業者選 定・契 約(委 託)」 | 【要求事項】B041 研究員・エフォート 管理のシステム化 | 「研究員情報の統一的な管理のため、登録研究員の信頼 性チェック及び情報登録をPMS上で実施する」とありますが、 e-Rad研究者番号等の一意のキー情報を必須とされますで しょうか。研究機関名、研究者名等の情報から名寄せを行う 場合、名寄せ機能に相当数の工数が発生します。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 188 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 12～27 | シート 「14_知 財の出 願(委 託)」 | ■業務変更（要 求事項） | 「知財の出願に係る業務（産業財産権出願通知書の届出） について、PMSから独立したシステムで実施する」と記載 されていますが、知財業務の産業財産権出願通知書の提出 のみ知財管理システムに移管されるのか、「14_知財の出願 (委託)」のすべてのフローが移管されるいずれでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 189 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 12～27 | シート 「14_知 財の出 願(委 託)」 | | 現行PMSから次期PMSに移行する際、移行元、移行先の データマッピングは本調達において実施されると想定していま すが、知財関連のデータマッピングは調達範囲外という認識でよ ろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 190 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 12～27 | シート 「23_追 跡調 査・評 価」 | | 成果フォローアップシステムと追跡調査支援システムは同義で しょうか。また、追跡調査支援システムから次期PMSにアーク ード結果を連携と記載がありますが、どのようなIFを想定してい るのでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 191 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 44～51 | シート 「45_帳 票様式 管理」 | | 帳票様式の管理は原則、業務システム課様で対応し、運 用・保守を担当しているベンダーは実施しないで良いという認 識でよろしいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 192 | 次期PMS_ToBe 業務フロー_業務 44～51 | シート 「45_帳 票様式 管理」 | | 帳票様式の管理は原則、業務システム課様で対応してい ただく場合、帳票一覧や帳票設計書の管理も業務システム課 様で管理いただく、または、管理しない等の運用方針をご提 示していただくことは可能でしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 193 | 次期PMS調達支 援_機能要件定義 書_JPJ07B 契約 成果管理 | シート 「JPJ07B 契約成 果管理 」 | 【要求事項】 B052：情報登録 のWeb入力化 | 「事業者による・・・属性情報として保持できる」とありますが、 契約成果の数も膨大であるため、プロジェクト成果管理と同 様に「Web入力およびデータインポートにより登録できるように する機能が必要であると認識していますが、実装することは可 能でしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |

| 意見 番号 | 文書名 | 頁番 号 | 項目 | 意見 | 回答案 | 仕様書 修正有無 | 修正内容 |
|----------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--|---|-------------|------|
| 194 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPJ07C 財産管理 | シート 「JPJ07C 財産管理」 | JPJ07C.SR.01.01 登録 | 資産は委託契約の機能であり、財産は交付（補助）契約の機能です。委託契約と交付契約の間には特に関連性がなく、契約間の資産と財産をPMS上で操作することはできません。次期PMSでは、契約間の資産と財産を相互に参照するという要望はあるでしょうか。あるいは単純に記載が誤っているのでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 195 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN02B 職員管理 | シート 「JPN02B 職員管理」 | JPN02B.SR.01 の登録 | 「初回パスワードとして、職員番号を自動で設定する」とありますが、現行は会計システムの機能で、PMS側でも同様の機能を保持することでしょうか。SSOという記載があり、次期PMSではMDMのユーザー一覧を元にログインが可能な認識ですが、職員情報の登録業務をPMS側が実装するのでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 196 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN03C プロジェクト契約一覧 | シート 「JPN03C プロジェクト契約一覧」 | JPN03C.SR.02 契約の新規登録機能 | 「JPN09A 収入契約情報管理」が載っていますが、機能要件定義書やプロ図には、「JPN09A 収入契約情報管理」は存在していませんでした。どちらが正しいでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 197 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN04B 契約情報管理 | シート 「JPN04B 契約情報管理」 | JPN04B.SR.01.01 契約基本の登録 | コンソーシアム契約は現行PMSの連名契約と同じでしょうか。その場合、「連番の契約管理番号を発番する」というのは、契約管理番号の発番ルールを変更するという意味でしょうか。（現在PMSの発番ルールでは、連番の確保はできません。） | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 198 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN04H 執行見込み報告管理 | シート 「JPN04H 執行見込み報告管理」 | JPN04H.SR.04 | 機能処理No.1で「伝票区分は「年度未費用化後における会計処理パターン」シートに準拠する」とありますが、処理パターンの内容をご教示ください。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 199 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN05A 検査情報管理 | シート 「JPN05A 検査情報管理」 | JPN05A.SR.06伝票起票の外部連携（出力） | 検査管理機能の文脈では、「複数年度にまたがる支払処理」の「支払処理」は「検査」のことを指すでしょうか。また、「複数年度にまたがる」と「年度数分の伝票を起票」については、1回の検査で複数の伝票を起票できるという理解で間違いないでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 200 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN05A 検査情報管理 | シート 「JPN05A 検査情報管理」 | JPN05A.SR.06伝票起票の外部連携（出力） | 委託・補助事業の検査管理機能において、確定減処理が見当たらないのですが、廃止されるのでしょうか。（現行では発注問い合わせ管理にはまだ存在しています。） | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 201 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN06A 支払情報管理 | シート 「JPN06A 支払情報管理」 | JPN06A.SR.04伝票起票の外部連携（出力） | ・複数年度にまたがる支払処理について、一度の処理で完結させ、当該処理をトリガーとして会計システムで年度数分の伝票を起票できる 結果として、複数の伝票なのか、1枚の伝票なのか不明であり、どちらの仕様が正しいかご教示をお願いします。 ※複数年⇒前年度分含めてという想定です（3年、4年はない想定） | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 202 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN11R 伝票管理 | シート 「JPN11R 伝票管理」 | JPN11R.SR.01 | 伝票マスクは、伝票起票時に必要となるデータ項目を登録しますが、その項目が検査情報や支払情報の項目となり、会計システムとの伝票連携の内容となりますでしょうか。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |
| 203 | 次期PMS調達支援_機能要件定義書_JPN11U ノード・ロコード開発 | シート 「JPN11U ノード・ロコード開発」 | JPN11U.SR.01.01 | 設定は本番環境で登録→本番使用する想定でしょうか。 テスト環境で登録、テスト実施する場合、本番環境で再度同じ定義情報を入力する想定でしょうか。 テスト環境で入力した定義情報を本番にコピーする機能が必要であれば明記をお願いします。 | 仕様書（案）に対する意見では無いため、回答の対象外とさせていただきます。参考とさせていただきます。 | - | |